D01437701B

ESOTERIC

Grandioso C1

Phonostage Preamplifier

取扱説明書

目　次

エソテリック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

エソテリック製品は、最良の音質で末永くお使いいただくために、一台一台を厳しい品質管理のもとに製造しております。最良のコンディションでお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに保証書と一緒に大切に保管してください。

末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

お使いになる前に.....4
安全にお使いいただくために.....5
各部の名称（電源 / コントロール部）.....8
リモコンについて.....9
各部の名称（リモコン）.....10
接　続（本体）.....12
接　続（電源 / コントロール部）.....14
基本操作.....16
設定.....20
設定 1.....22
設定 2.....23
エラー表示.....25
困ったときは.....26
仕　様.....27
保証とアフターサービス.....28
寸法図.....29
XLR ケーブル接続図.....31

注意

本機のアナログ出力は、選択した端子 1 系統のみに出力します。

リモコンの OUTPUT ボタンを押して切り換えてください。（16 ページ）

ESOTERIC およびエソテリックは、ティアック株式会社の登録商標です。

その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

音のエチケット



楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。
適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

お使いになる前に

付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社 AV お客様相談室 (32 ページに記載) にご連絡ください。

AC 電源コード× 1
DC 電源コード (オス) × 2
DC 電源コード (メス) × 1
リモコン (RC-1343) × 1
リモコン用乾電池 (単 3) × 2
取扱説明書 (本書) × 1
ご愛用者カード× 1

使用上の注意

- 本機の上には物を置かないでください。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、他のアンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。
- 安定した場所に設置してください。

お手入れ

製品表面の汚れは、乾いた柔らかい布で拭いてください。
ひどい汚れのときは、固く絞った布で水拭きしてください。

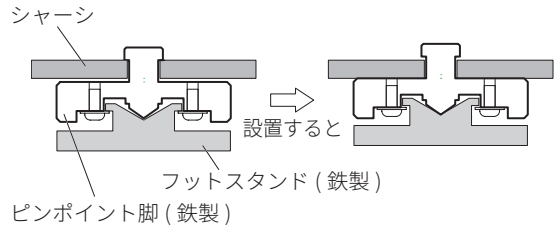
ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、キャビネットを傷めることがありますので避けてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠ お手入れは安全のため AC 電源コードをコンセントから抜いて行ってください。

設置について

本機の底板には、高精度の鉄製ピンポイント脚が取り付けられています。

ピンポイント脚とフットスタンドは、ぐらついた状態になっていますが、設置するとピンポイント支持になり、振動を効果的に分散させます。

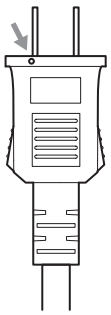


- 設置後にシャーシとピンポイント脚との間にすき間があるときは、ピンポイント脚をネジを締めこむ方向に回すと、すき間がなくなります。
- 本機は重いので、設置の際は、けがをしないように十分ご注意ください。

電源の極性について

付属の AC 電源コードのプラグ部分に丸い突起がある方が、本機のアース側を示しています。一般的に、家庭用電源コンセントの差し込み口は、長い溝の方がアース側です。

接続時の AC 電源プラグの差し込む向き (極性) によって、音質が変わることがあります。お好みの音質となる向きで接続してください。



安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

警告	**以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
 **電源プラグをコンセントから抜く**	**万一、異常が起きたら** **煙が出たり、変なにおいや音がするときは** **機器の内部に異物や水などが入ったときは** **この機器を落としたり、カバーを破損したときは** すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター (32 ページ) に修理をご依頼ください。
 **禁止**	**電源コードを傷つけない** **電源コードの上に重いものをのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない** **電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない** コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、電源コードが破損したら (芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック修理センター (32 ページ) に交換をご依頼ください。
	付属の電源コードを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。
	交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧 (交流 100 ボルト) 以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流 (DC) 電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し (20 cm 以上) 離して置く **ラックなどに入れるときは、機器の天面から 5 cm 以上、背面から 10 cm 以上のすきまをあける** すきまをあけないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
 **指示**	**電源プラグにほこりをためない** 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 定期的 (年 1 回くらい) に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。
 **禁止**	**機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない** 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。
 **分解禁止**	**この機器のカバーは絶対に外さない** カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター (32 ページ) にご依頼ください。
	この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。

安全にお使いいただくために (続き)

⚠ 注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 電源プラグをコンセントから抜く	**移動させる場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外す** ケーブルが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。
	旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。
 指示	**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する** **また、接続は指定のケーブルを使用する**
	電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	この機器は本体が 20.7 kg、電源 / コントロール部が 23.4 kg あり大変重いので、開梱や持ち運びの際はけがをしないように注意する
	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。
	この機器には、付属の電源コードを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。
 禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない** **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない** 火災・感電やけがの原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ずプラグを持って抜いてください。
 禁止	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししない** 感電の原因となることがあります。


愛情点検

電源コードや本体に異常がないか、定期的に点検してください。
内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
5 年に 1 度は、販売店またはティアック修理センター (32 ページ) に内部の点検をご依頼ください。
費用についてはお問い合わせください。

電池の取り扱いについて

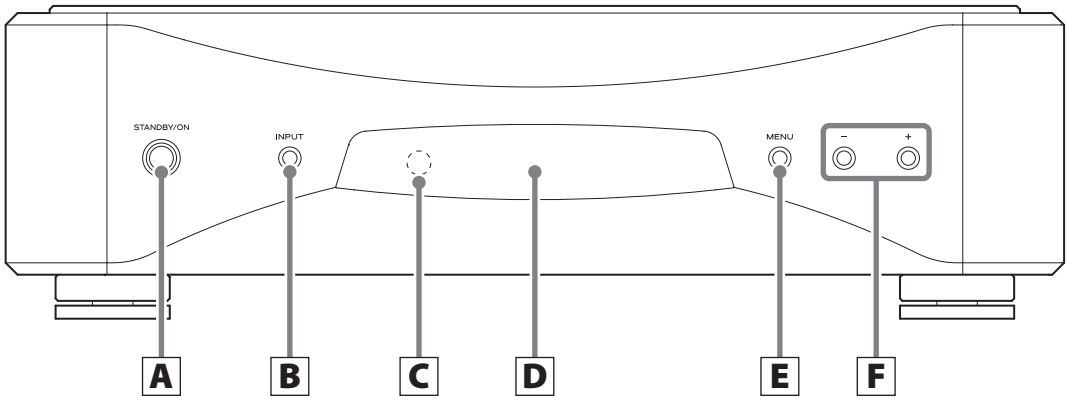
本製品は電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどの原因となりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

 **警告**	**乾電池に関する警告**
 禁止	**乾電池は絶対に充電しない** 破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

 **警告**	**電池に関する警告**
 強制	**電池を入れるときは、極性表示 (プラス ⊕ とマイナス ⊖ の向き) に注意し、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れる** 間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	長時間使用しないときは電池を取り出しておく 液が漏れて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液が漏れた場合は、電池ケースに付いた液を良く拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一漏れた液が身体に付いたときは、水で良く洗い流してください。
 禁止	**指定以外の電池は使用しない** **新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない** 破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損することがあります。
	炎天下の車内や暖房器具のそばなど、温度が高くなるところで保管しない 本体の変形によるショートや発火、故障、電池の劣化の原因となります。

 **注意**	**電池に関する注意**
 禁止	**金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない** ショートして液漏れや破裂などの原因となることがあります。
	電池を熱したり、火または水に投げ入れたりしない 電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
 分解禁止	**分解しない** 電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。
 注意	保管や廃棄をする場合は、他の電池や金属の物と接触しないようにテープなどで端子を絶縁してください。
	使い終わった電池は、電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村の廃棄方法にしたがって捨ててください。

各部の名称（電源 / コントロール部）



A 電源ボタン（STANDBY/ON）

電源のスタンバイとオンを切り換えます。
電源がオンのときは、ボタンの周囲が点灯します。

- 本機を使用しないときは、電源をスタンバイにしてください。

B 入力切換ボタン (INPUT)

入力ソースを切り換えます。再生する機器が接続されている端子を選んでください。(16 ページ)
長押しして、プリセットイコライザーカーブを選択します。(16 ページ)
設定モード時に押すと、設定を終了します。

C リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をこちらに向けて操作してください。

D ディスプレー

選択されている入力端子の情報などを表示します。

E メニューボタン（MENU）

設定モードになります。(20 ページ)

F 選択項目変更ボタン（– /+）

設定モード時のパラメーター変更に使用します。
–ボタンを長押しすると簡易消磁がオンになります。
簡易消磁がオンのとき他のボタンを押すと簡易消磁がオフになります。

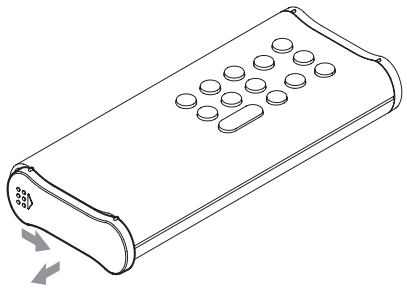
リモコンについて

リモコン使用上の注意

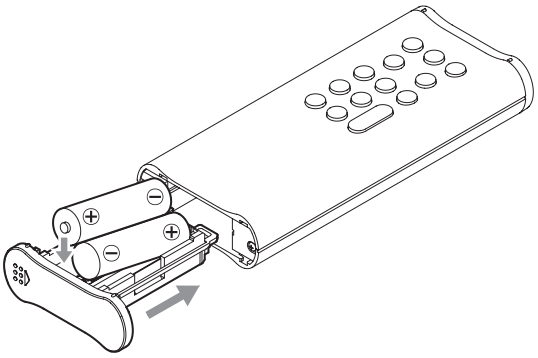
- リモコンの先端を電源 / コントロール部のリモコン受光部に向けて、7 メートル以内の距離で操作してください。電源 / コントロール部とリモコンの間には障害物を置かないでください。
- リモコンの受光部に直射日光や照明の強い光が当たっていると、リモコン操作ができないことがあります。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

電池の入れ方

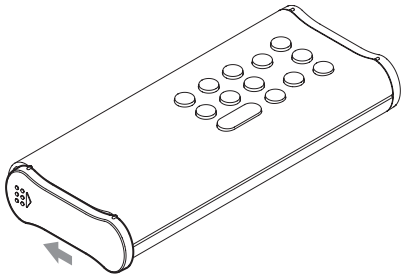
1 **リモコンの底面を図のようにスライドさせて、電池ケースを引き出す。**



2 **ケースの ⊕ と ⊖ の表示に合わせて乾電池 (単 3 形) 2 本を入れて電池ケースを戻す。**



3 **リモコンの底面を図のようにスライドさせて、電池ケースを取り付ける。**



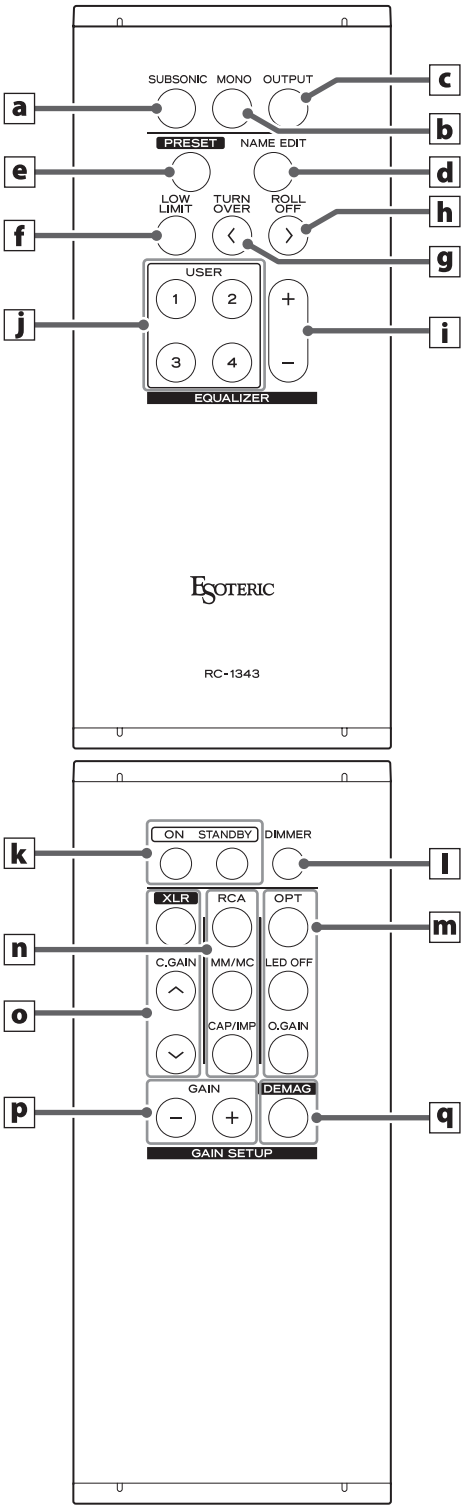
電池の交換時期

操作範囲が狭くなったり、操作ボタンを押しても動作しない場合は、2 本とも新しい電池に交換してください。
使い終わった電池は電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村指定の廃棄方法に従って捨ててください。

⚠ 電池についての注意

乾電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
7 ページの注意をよく読んでご使用ください。

各部の名称（リモコン）



電源 / コントロール部とリモコンに同じ機能のボタンがある場合、この取扱説明書ではいずれかのボタンを使って説明していますが、記載されていない方のボタンも同様に使えます。

a サブソニックフィルターボタン (SUBSONIC)

押すごとにオン、オフを切り換えます。
オンにするとカットオフ 16 Hz、−6 dB/oct のスロープで減衰させます。
そりのあるレコードを再生するときにオンにすると、ウーハーの不要な動きが減少します。

b MONO ボタン

押すごとに MONO モードの ON(モノラル) と OFF(ステレオ) を切り換えます。(23 ページ)

c OUTPUT ボタン

出力端子の設定 (OUT>) を確認・変更するときに押します。(24 ページ)
出力端子を変更するには、OUTPUT ボタンを押してから、〈 または 〉ボタンを押します。

d イコライザーカーブ名編集ボタン (NAME EDIT)

USER ボタン (1~4) を押したときにディスプレーに表示されるイコライザーカーブ名を、お好きな名前 (5 文字以内) にすることができます。(19 ページ)

e プリセットボタン (PRESET)

押すごとにイコライザーカーブが変わります。(16 ページ)

f LOW LIMIT ボタン

LOW LIMIT (L.LMT>) を確認・変更するときに押します。(22 ページ)
設定値はイコライザー設定変更ボタン (EQUALIZER、+/−) を押して変更します。

g TURNOVER ボタン (〈)

TURNOVER (T.OVR>) を変更するときに押します。(22 ページ)
設定値はイコライザー設定変更ボタン (EQUALIZER、+/−) を押して変更します。

イコライザーカーブ名の編集中はカーソルの移動に使用します。(19 ページ)

出力端子の切り換えに使用します。(24 ページ)

h ROLL OFF (〉) ボタン

ROLL OFF (R.OFF>) を変更するときに押します。(22 ページ)
設定値はイコライザー設定変更ボタン (EQUALIZER、+/ −) を押して変更します。

イコライザーカーブ名の編集中はカーソルの移動に使用します。(19 ページ)

出力端子の切り換えに使用します。(24 ページ)

i イコライザー設定変更ボタン (EQUALIZER、+/ −)

LOW LIMIT、TURNOVER、ROLL OFF を変更するときに使用します。(19 ページ)
イコライザーカーブ名編集中は、文字選択に使用します。

j USER (1~4) ボタン

ユーザー設定のイコライザーカーブを呼び出します。
長押しすると現在のイコライザーカーブ設定を保存します。

k オン / スタンバイボタン (ON/STANDBY)

電源をオン / スタンバイします。(16 ページ)

l ディマーボタン（DIMMER）

電源 / コントロール部のディスプレーの明るさを調節できます。(20 ページ)

m OPT 入力設定ボタン

OPTICAL 入力端子の設定を行います。

OPT
入力ソースが OPT に切り換わります。(16 ページ)

LED OFF
OPT 入力電源 (O.PWR>) を変更します。(23 ページ)

O.GAIN
OPT ゲイン (O.Gain>) を変更します。(23 ページ)

n RCA 入力設定ボタン

RCA 入力端子の設定を行います。

RCA
入力ソースが RCA に切り換わります。(16 ページ)

MM/MC
カートリッジタイプ (MM/MC>) を変更します。(22 ページ)
押すごとに MM と MC に切り換わります。

CAP/IMP
カートリッジタイプ (MM/MC>) が「MM」のとき、負荷容量 (MMcap>) を変更します。(22 ページ)
カートリッジタイプ (MM/MC>) が「MC」のとき、インピーダンス (MCimp>) を変更します。(23 ページ)

o XLR 入力設定ボタン

XLR 入力端子の設定を行います。
再生する機器が接続されている端子を選んで、設定してください。

XLR
入力ソースが押すごとに XLR1、XLR2、XLR3 の順に切り換わります。(16 ページ)

C.GAIN (へ/∨)
電流ゲイン (C.Gain>) を変更します。(22 ページ)

p ゲイン設定ボタン (GAIN、− /+)

XLR/RCA 入力のゲイン (Gain>) を設定します。(22 ページ)

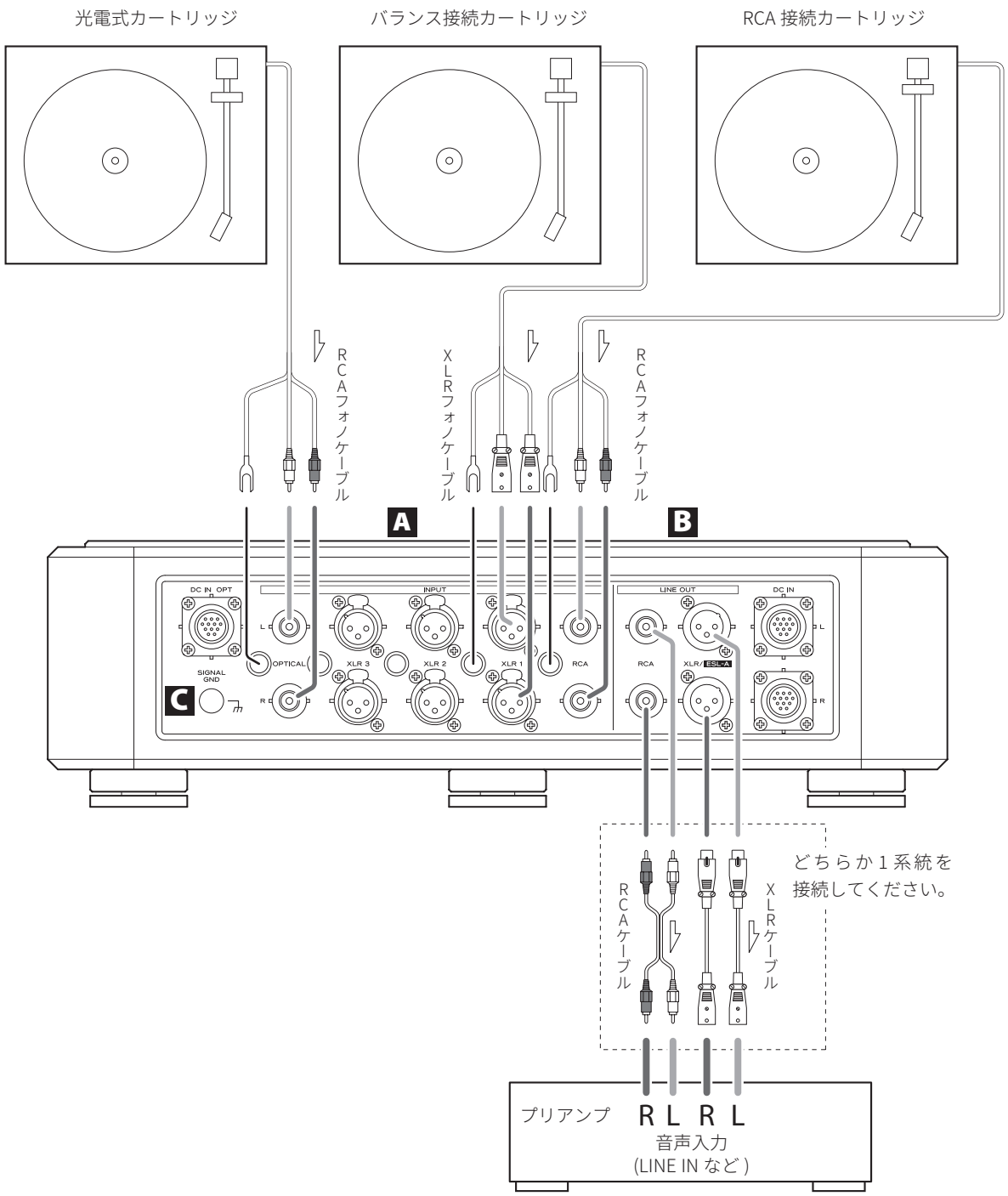
q 簡易消磁ボタン (DEMAG)

XLR または RCA 入力端子に接続したカートリッジの簡易消磁を行います。(17 ページ)

接　続（本体）

⚠ 接続時の注意

- すべての接続が終わってから AC 電源コードをコンセントに差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。



A フォノ入力端子 (INPUT)

レコードプレーヤーの音声出力を接続します。

- レコードプレーヤーの音声出力ケーブルのアース端子は、各入力ごとに用意されているアース端子に接続してください。
- アース端子の接続に Y ラグ端子を使用する場合は、内径 5mm 以上の Y ラグ端子を使用してください。
- レコードプレーヤーのアース端子を接続しないと、ハムノイズ (ブーンという雑音) の原因となることがあります。
- XLR 端子は、MC カートリッジ専用です。

オーディオケーブルでプレーヤーと本機の R 端子同士、L 端子同士を接続してください。

接続には以下の市販のケーブルをお使いください。

XLR：XLR フォノケーブル (31 ページ)
RCA：RCA フォノケーブル
OPTICAL：RCA フォノケーブル

注意

OPTICAL 端子には電圧が出力されますので、光電式カートリッジ以外は絶対に接続しないでください。

B ライン出力端子 (LINE OUT)

音声を出力します。

プリアンプの音声入力端子 (LINE IN など) と接続してください。

接続には以下の市販のケーブルをお使いください。

XLR、ESL-A : バランス型 XLR ケーブル
RCA : RCA ケーブル

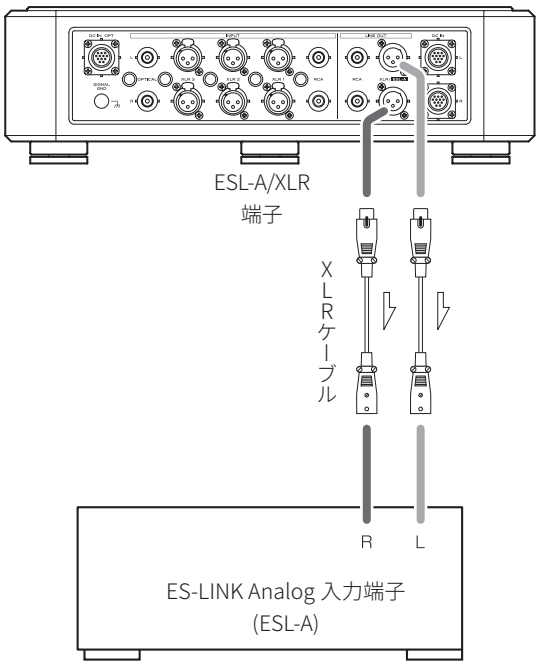
- 本機のライン出力端子をアンプのフォノ入力端子に接続しないでください。必ずライン入力端子に接続してください。

C アース端子 (SIGNAL GND)

プリアンプとアース接続をすると、音質が良くなることがあります。

- 安全アースではありません。

プリアンプと ES-LINK Analog で接続する場合



ES-LINK Analog 対応プリアンプ

本機のアナログ音声出力端子 (ESL-A/XLR) とインテグレーテッドアンプの ES-LINK Analog 入力端子 (ESL-A) を XLR ケーブルで接続します。

- 本機の出力設定 (OUT>) を「ESLA」にしてください。(24 ページ)
- プリアンプの XLR 入力端子の動作モードを「ESLA」に設定してください。

メモ

XLR や RCA でも接続することができます。お好みの音質の接続を選んでご使用ください。

ES-LINK Analog について

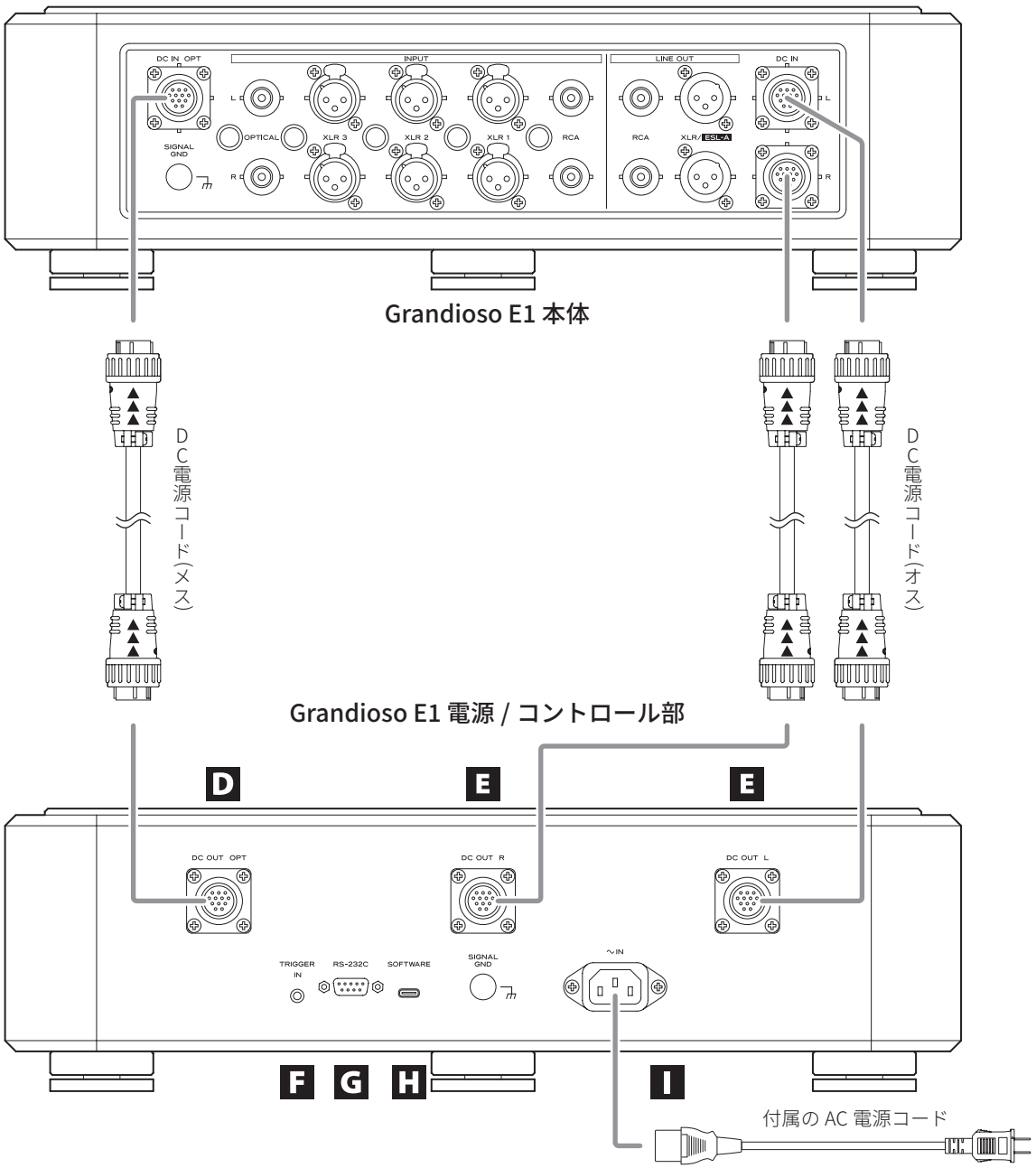
エソテリック独自の伝送方式である「ES-LINK Analog」は、ハイスピードで強力な電流供給能力を誇る HCLD バッファー回路の性能を生かした電流伝送方式により、信号経路のインピーダンスの影響を受けにくく、信号をピュアに力強く伝送することが可能です。

- 接続ケーブルは一般的なバランスケーブル (端子形状 :XLR) ですが、独自伝送方式のため、対応する機器以外ではご使用になれません。

接　続（電源 / コントロール部）

⚠ 接続時の注意

- すべての接続が終わってから AC 電源コードをコンセントに差し込んでください。
- 本機を電源コンセントにつないだ状態で、DC OUT 端子のピンに他のコードの先端などの金属部分が接触すると、ピンがショートして故障することがありますので､本機の接続は必ず AC 電源コードをコンセントから抜いた状態で行ってください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
- DC 電源コードの矢印の向きに注意して接続してください。
- 本機に付属の DC 電源コードは、Grandioso E1 との接続専用です。



D DC 電源出力端子 (DC OUT OPT)

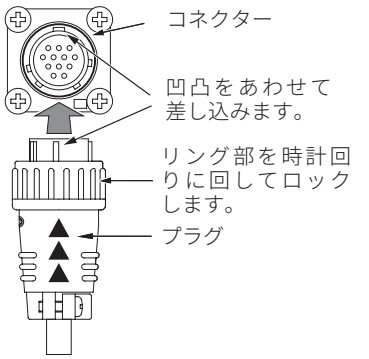
E DC 電源出力端子 (DC OUT L/R)

本体の DC 電源入力端子 (DC IN) と、電源 / コントロール部の DC 電源出力端子 (DC OUT) を、DC（直流）電源コードを使って接続します。

電源コード（メス）を使って接続
DC OUT OPT ➡ DC IN OPT

電源コード（オス）を使って接続
DC OUT R ➡ DC IN R
DC OUT L ➡ DC IN L

- DC(直流) 電源コードには矢印が印刷されています。矢印が 14 ページの図の向きになるように接続してください。
  DC(直流) 電源コードの凹凸と矢印の向きを確認してプラグ部を持ち、プラグとコネクターのマークを合わせて差し込みます。リング部を時計回りに回してロックします。外すときは、逆の手順で取り外してください。抜き差しするときに、プラグを斜めにしたり揺らしたりしないでください。
- DC(直流)電源コードの抜き差しは、必ずAC電源コードをコンセントから抜いた状態で行ってください。
- DC(直流) 電源コードを抜き差しするときは、リング部に指を挟まないようご注意ください。



F トリガー入力端子 (TRIGGER IN)

外部から電源をコントロールするための端子です。
この端子を使わないときは何も接続しないでください。

G リモコン入力端子 (RS-232C)

専門業者 (カスタムインストーラー) 用のコントロール端子です。

H メンテナンス用端子 (SOFTWARE)

メンテナンスで使用します。弊社サービス部門の指示が無い限り、何も接続しないでください。

I AC 電源インレット (～ IN)

AC 電源インレットに付属の AC 電源コードを差し込んでください。すべての接続が終わったら、AC 電源コードを 100 V AC の電源コンセントに差し込んでください。

- 本機の AC 電源コード接続ソケットは 3 ピン仕様になっていますが、アースピンはシャーシには接続されていません。

⚠ エソテリック純正の AC 電源コード以外は使わないでください。火災や感電の原因になることがあります。また、長期間使用しないときは、コンセントから AC 電源コードを抜いておいてください。

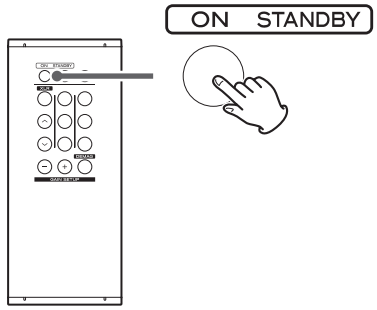
基本操作

1 プリアンプの音量を最小にする。

電源オフ時に音量を調節できない機器の場合、電源をオンにしてから音量を最小にしてください。

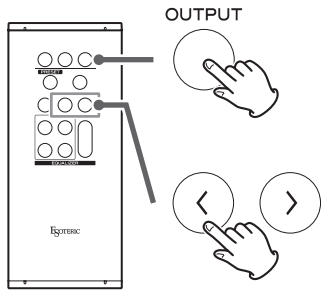
2 プリアンプの入力ソースを本機を接続した端子にする。

3 オンボタン (ON) を押して電源をオンにする。

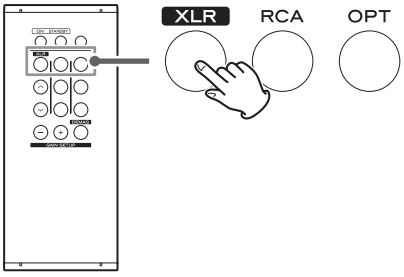


4 出力端子を切り換える。

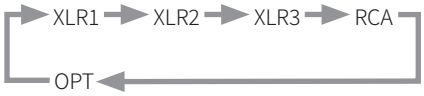
本機のアナログ出力は、選択した端子 1 系統のみに出力します。
OUTPUT ボタンを押してから く または > ボタンを押します。
または、設定 2 の出力設定 (OUT>) で使用するアナログ出力端子を選択します。(24 ページ)



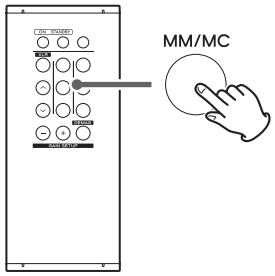
5 入力設定ボタン (XLR、RCA、OPT) を押して入力ソースを選ぶ。



電源 / コントロール部の入力切換ボタン (INPUT) は、押すたびに次のように入力が切り換わり、ディスプレーに表示されます。



- RCA を選択した場合は、リモコンの MM/MC ボタンまたは設定項目でカートリッジタイプ (MM/MC>) も設定してください。(11 ページ、22 ページ)

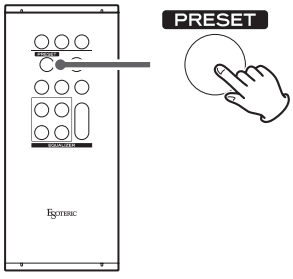


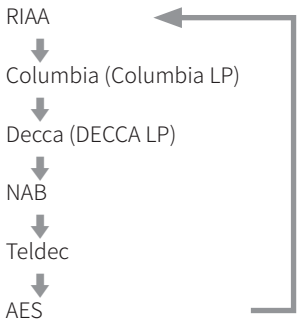
6 入力ごとの設定をする。

XLR(1~3) または RCA を選んだ場合

1. イコライザーカーブを選択する。

プリセットボタン (PRESET) を押すごとにプリセットイコライザーカーブを以下の順で選択します。
再生するレコードに合わせて選択してください。





- 電源 / コントロール部の入力切換ボタン (INPUT) を長押ししてもプリセットイコライザーカーブを変更できます。
- イコライザーカーブを変更すると、音量が変わる場合があります。
- ユーザー設定のイコライザーカーブを選択するにはリモコンの USER（1~4）ボタンを押します。(19 ページ)

2. ゲイン (Gain、C.Gain) を設定する。

接続したカートリッジに合わせて、ゲインを設定してください。(22 ページ)

XLR 入力端子は、電流入力方式を採用しているためカートリッジのインピーダンスにより入力レベルが大きく変化します。
音が歪む場合は、電流ゲイン (C.Gain) または電圧ゲイン (Gain) を調整してください。

OPT を選んだ場合

OPT 入力電源 (O.PWR>) を「ON」に設定する。

O.PWR>OFF のときはディスプレーに「OPT PWROFF」が表示されます。
O.PWR>ON のときはディスプレーに「OPTICAL」が表示されます。

⚠ 必ず光電式カートリッジを接続してから「ON」にしてください。カートリッジを破損するおそれがあります。

- 入力ソースが OPT のときは、イコライザー設定とゲイン設定 (Gain>、C.Gain>) が無効なので、イコライザー / ゲイン設定は表示しません。
- 音が歪む場合は、OPT ゲイン (O.Gain>) を LOW に設定してください。(23 ページ)

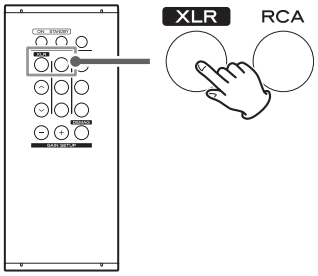
7 プリアンプおよびレコードプレーヤーを操作して再生する。

簡易消磁機能

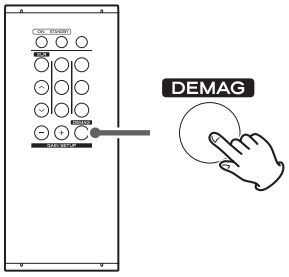
簡易消磁機能を使うと、帯磁していた鉄芯入りの MC カートリッジや昇圧トランスなどが消磁され、音質がクリアになったり、音の抜けがよくなったりする場合があります。

- XLR (1~3)、RCA 入力端子用の機能です。

1 入力設定ボタン (XLR、RCA) で簡易消磁を行うカートリッジが接続されている入力ソースを選択する。



2 簡易消磁ボタン (DEMAG) を押して、簡易消磁をオンにする。



電源 / コントロール部の選択項目変更ボタン (–) を長押ししても簡易消磁がオンになります。

- 簡易消磁がオンになると、ディスプレーに「DEMAG XLR」または「DEMAG RCA」が点滅表示します。
- 簡易消磁がオンの間は負荷抵抗が 0 Ωに設定され、カートリッジの両端がショートされた状態になります。

3 レコードを再生する。

再生信号電流がカートリッジ内を流れ、消磁します。

- 消磁時間の目安は約 30 秒です。約 30 秒間、再生し続けてください。
- 消磁中は、再生音は出力されません。

4 簡易消磁ボタン (DEMAG) を押して、簡易消磁をオフにする。

ディスプレーが通常表示に戻っていることを確認してください。

イコライザーカーブについて

本製品はイコライザーカーブをレコードに合わせて調整できる機能を搭載しています。
プリセットで RIAA などの代表的なイコライザカーブを用意していますが、ユーザーがイコライザーカーブを自由に設定・保存することも可能です。

以下に、本機で採用したプリセットカーブの設定値と、古いレーベルのイコライザーカーブに対応する本機の設定値を記載します。

- イコライザーカーブには諸説あります。
- イコライザーカーブに正確に合わせられない場合もあります。
- 出荷時は、RIAA に設定されています。

プリセットカーブの設定

イコライザーカーブ名	LOW LIMIT [Hz]	TURNOVER [Hz]	ROLL OFF [dB /10kHz]
RIAA	50	500	− 13.7
Columbia (LP)	100	500	− 16
Decca (LP)	100	500	− 10.5
NAB	71	500	− 16
Teldec	50	500	− 10.5
AES	50	400	− 12

古いレコードのイコライザカーブ

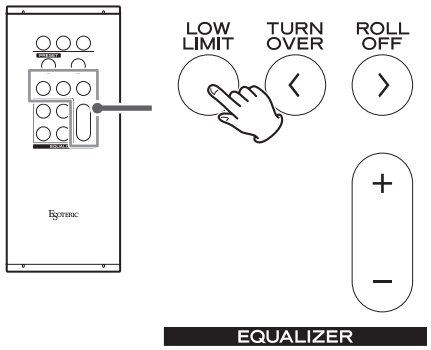
レーベル名	LOW LIMIT [Hz]	TURN-OVER [Hz]	ROLL OFF [dB /10kHz]	回転数
Allegro	100	500	− 16	33
Angel	50	500	− 12.7	33
Atlantic	71	500	− 16	33
Bach Guild	100	500	− 16	33
Banner	100	500	− 16	33
Bartok	100	630	− 16	33
Blue Note	50	400	− 12	33
Boston	100	500	− 16	33
Brunswick	50	630	− 8	78
	50	400	− 12	33
Cademon	50	630	− 16	33
Canyon	50	400	− 12	33
Capitol	71	500	− 16	45
	50	400	− 12.7	33
Cetra-Soria	100	500	− 16	33
Colosseum	71	500	− 16	33
Columbia	71	500	− 16	45
	100	500	− 16	33
Concert Hall	50	400	− 12	33
Cook	50	500	− 16	33
Coral	71	500	− 16	33
Decca (American)	71	500	− 16	45
Decca (British)	50	250	FLAT	78
Dial	100	500	− 16	33
EMS	50	400	− 12	33
Epic	100	500	− 16	33
Esoteric	50	400	− 12	33
Good Time Jazz	50	400	− 12	33
Handel Society	100	500	− 16	33
London	100	500	− 10.5	33
Lyrichord	100	500	− 16	33
Majestic	50	800	− 16	78
Mercury	50	400	− 12	33
Oceanic	100	500	− 16	33
Oxford	100	500	− 16	33
Rachmaninoff Society	100	500	− 16	33
Remington	71	500	− 16	33
Renaissance	100	500	− 12	33
Stradivari	100	500	− 16	33
Technichord	50	800	− 12	78
Telefunken	50	400	FLAT	33
Vanguard	100	500	− 16	33
Westminster	100	500	− 16	33

イコライザーカーブの作成と保存

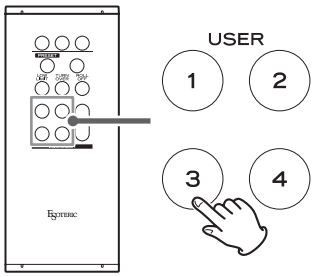
LOW LIMIT、TURNOVER、ROLL OFF の値を可変させて、イコライザーカーブを作成、保存することができます。

1 LOW LIMIT、TURNOVER、ROLL OFF ボタンを押して、イコライザー設定変更ボタン (EQUALIZER、+/－) で設定を変更する。

設定 1 の LOW LIMIT (L.LMT>)、TURNOVER (T.OVR>)、ROLL OFF (R.OFF>) を変更してもイコライザーカーブを設定することができます。



2 USER ボタン (1~4) を長押しして設定を保存する。



メモ

- 保存したイコライザーカーブは、USER ボタン (1~4) からいつでも呼び出せます。
- プリセットされたイコライザーカーブを呼び出した後に各パラメータ (LOW LIMIT、TURNOVER、ROLL OFF) を変更すると、画面にはイコライザー名とその横に＊が表示されます。

イコライザーカーブ名の編集

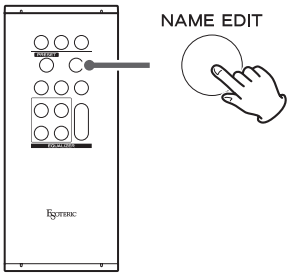
USER ボタン (1~4) を押したときにディスプレーに表示される名前を、お好きな名前 (5 文字以内) にすることができます。

- リモコンを使って編集します。

1 名前を編集したいイコライザーカーブを呼び出す。

2 イコライザーカーブ名編集ボタン (NAME EDIT) を押す。

「Name Edit」が数秒表示された後、編集画面に切り換わります。



3 文字を入力する。

入力中の文字とカーソルが交互に表示されます。
イコライザー設定変更ボタン (EQUALIZER、+/－) で文字を選択します。

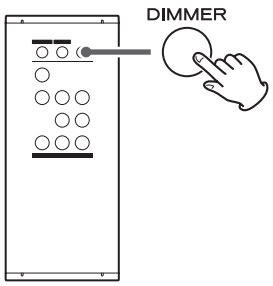
4 〈 や 〉ボタンでカーソルを移動する。

5 入力が終わったらイコライザーカーブ名編集ボタン (NAME EDIT) を押す

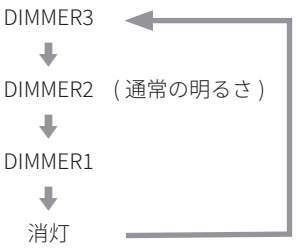
- 入力を中止するときは、OUTPUT ボタンを押します。
- 文字の入力中は、入力ソースの切り換えや設定変更などの操作はできません。
- 使用できる文字
  アルファベット：A ～ Z、a ～ z
  数字：0 ～ 9
  記号：!"#$%&'()*+,-./\:;<=>?@(空白)
- 5 文字をすべて「 」(空白) にすると、入力ソース名をクリアします。

基本操作（続き）

ディマー



電源 / コントロール部のディスプレーの明るさを調節できます。



- 消灯中にいずれかのボタンを押すと、数秒間だけディスプレーが通常の明るさで点灯します。
- 設定モードのときは通常の明るさで点灯します。
- DIMMER 1 または消灯が選択されていても、設定メニューやエラー内容は DIMMER 2 で表示されます。
- 長押しすると、DIMMER 2 に設定されます。
- ディマー設定を変更すると、電源 / コントロール部の電源ボタンのインジゲーターと本体前面のイルミネーションも点灯時に明るさが変わります。

設定

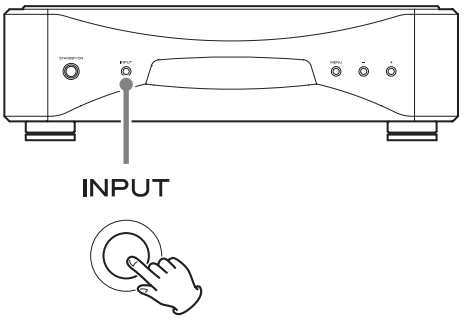
本機の設定は、設定 1 と設定 2 の二つのグループに分かれています。
メニューボタン (MENU) の押し方によって設定 1 と設定 2 の表示を切り換えることができます。

- 設定 1 は入力ソースごとの設定です。
  設定 2 は全入力ソース共通の設定です。
- 設定 1 の全項目と設定 2 のサブソニックフィルター (S.FLT>)、MONO モード (MONO>)、出力設定 (OUT>) は、リモコンでの操作が可能です。
- 設定した内容は、AC 電源コードを抜いても保持されます。

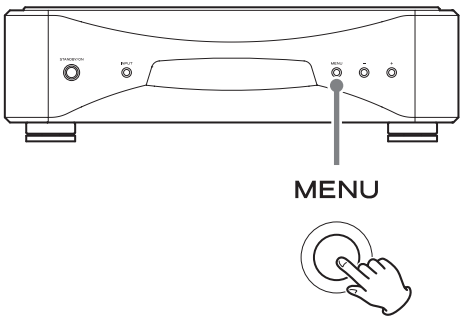
1 設定画面を表示させる。

設定 1 を表示させる場合

1. 設定する入力ソースを選ぶ。
電源 / コントロール部で操作するときは入力切換ボタン (INPUT) を押します。



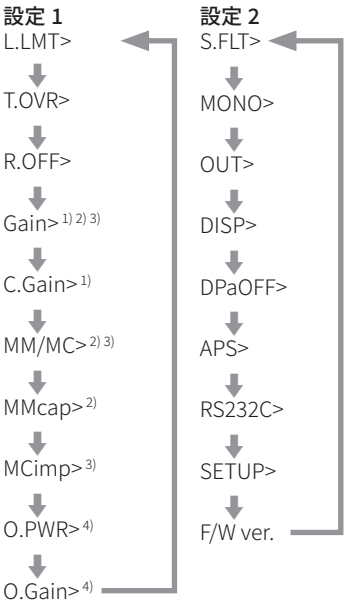
2. メニューボタン (MENU) を押して、設定 1 を表示させる。



設定 2 を表示させる場合

メニューボタン (MENU) を長押しする。

2 メニューボタン (MENU) をくり返し押して、変更する項目を選ぶ。



設定 1 は入力ソースによって設定項目が異なります。

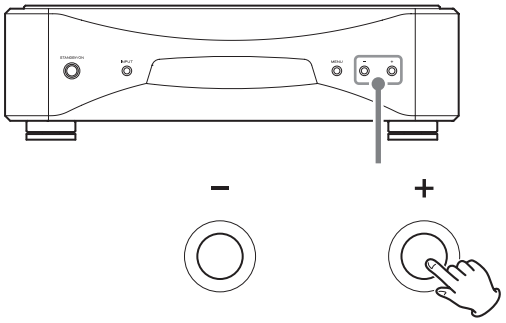
1) XLR (1~3) のとき表示

2) RCA (MM) のとき表示

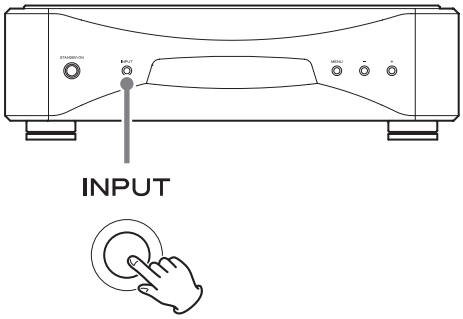
3) RCA (MC) のとき表示

4) OPT のとき表示

3 選択項目変更ボタン (– /+) を使って設定を変更する。



4 入力切換ボタン (INPUT) を押して、設定を終了する。



または 10 秒以上放置すると、設定を終了して通常の表示に戻ります。

設定 1

LOW LIMIT

L.LMT> ＊＊＊

入力が XLR、RCA のときの設定です。
イコライザーカーブの LOW LIMIT を設定します。

- 出荷時は、50Hz に設定されています。
- LOW LIMIT を変更すると、1kHz における信号レベルが、50Hz に比べて 71Hz は +3dB、100Hz は +6dB 変化します。音が歪む場合はゲイン (Gain>、C.Gain>) も合わせて調整してください。

50Hz(20dB)/71Hz(18dB)/100Hz(14dB)

TURNOVER

T.OVR> ＊＊＊

入力が XLR、RCA のときの設定です。
イコライザーカーブの TURNOVER を設定します。

- 出荷時は、500 Hz に設定されています。

FLAT/250 Hz/300 Hz/350 Hz/400 Hz/500 Hz/630 Hz/800 Hz

ROLL OFF

R.OFF> ＊＊＊

入力が XLR、RCA のときの設定です。
イコライザーカーブの ROLL OFF を設定します。

- 出荷時は、-13.7 dB に設定されています。

FLAT/-16 dB/-13.7 dB/-12.7 dB/-12 dB/-10.5 dB/-8 dB/-6 dB

電圧ゲイン (メインアンプ)

Gain> ＊＊＊

入力が XLR、RCA のときの設定です。
メインアンプのゲインを設定します。

- 出荷時は、0 dB に設定されています。
- 音が歪む場合はゲインを下げてください。

-6 dB/-4 dB/-2 dB/0 dB/+2 dB/+4 dB

電流ゲイン

C.Gain> ＊＊＊

入力が XLR のときの設定です。
XLR 入力端子の電流入力回路部のゲインを設定します。

- 出荷時は、0dB に設定されています。
- XLR 入力信号のゲインは、電圧ゲイン + 電流ゲインとなります。
- 電圧ゲインを調整しても歪む場合は、電流ゲインを下げてください。

-9 dB/-6 dB/-3 dB/0 dB

カートリッジタイプ

MM/MC> ＊＊＊

入力が RCA のときの設定です。
RCA 入力端子に接続したレコードプレーヤーに使用しているカートリッジのタイプを設定します。

- 出荷時は、MM に設定されています。

MM

MM カートリッジまたは MC カートリッジを昇圧トランス経由で使用する場合に選択してください。

MC

MC カートリッジを使用する場合に選択してください。

負荷容量 (RCA-MM)

MMcap> ＊＊＊

入力が RCA のときの設定です。
カートリッジタイプ (MM/MC>) が「MM」に設定されているとき RCA 端子の負荷容量を設定します。

- 出荷時は、OFF に設定されています。

OFF/100 pF/220 pF/320 pF

設定 2

インピーダンス (RCA-MC)

MCimp> ＊＊＊

カートリッジタイプ (MM/MC>) が「MC」に設定されているとき RCA 入力端子のインピーダンスを設定します。

- 出荷時は、100 Ωに設定されています。
- カートリッジタイプ (MM/MC>) が「MM」に設定されているときは 47k Ωになります。

10 Ω /50 Ω /100 Ω /200 Ω /560 Ω

OPT 入力電源

O.PWR> ＊＊＊

入力が OPT のときの設定です。
OPT 入力回路の電源を設定します。

- 出荷時は、OFF に設定されています。
- ON にすると、光電式カートリッジの LED が点灯します。
- OPT 以外の入力選択時は、オフの状態となります。

注意

ON にすると OPTICAL 入力端子から電圧が出力されますので、未使用時は必ず OFF に設定してください。

ON
OPTICAL 入力部の電源をオンにします。

OFF
OPTICAL 入力部の電源をオフにします。

OPT ゲイン

O.Gain> ＊＊＊

入力が OPT のときの設定です。
OPT 入力回路のゲインを設定します。

- 出荷時は、HI に設定されています。
- LOW は HI より 6dB 低い出力になります。

HI
ゲイン高

LOW
ゲイン低

サブソニックフィルター

S.FLT> ＊＊＊

- 出荷時は、OFF に設定されています。

ON
フィルターをオンにします。
サブソニックフィルターは入力信号をカットオフ 16Hz、– 6dB/oct のスロープで減衰させます。
そりのあるレコードを再生するときにオンにすると、ウーハーの不要な動きが減少します。

OFF
フィルターをオフにします。

MONO モード

MONO> ＊＊＊

左右の出力を合成してモノラル出力となります。モノラルレコードをお聴きになる際にご使用ください。

- 出荷時は、OFF に設定されています。

ON
モノラル出力にするときに選択します。

OFF
ステレオ出力にするときに選択します。

設定 2（続き）

出力設定

OUT> ＊＊＊

使用するアナログ出力端子を設定します。

- 出荷時は、XLR2 に設定されています。

⚠ 設定変更をする前に、必ず接続先の機器の音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害やスピーカーの破損の原因となることがあります。

ESLA
XLR 端子から ES-LINK Analog (ESL-A) でアナログオーディオ信号を出力します。

- 接続には一般的な XLR ケーブルを使用しますが、独自伝送方式のため、接続は対応する機器のみとなります。
- ES-LINK Analog (ESL-A) については、13 ページを参照ください。

XLR2
XLR 端子から 2 番 HOT でアナログオーディオ信号を出力します。

XLR3
XLR 端子から 3 番 HOT でアナログオーディオ信号を出力します。

RCA
RCA 端子からアナログオーディオ信号を出力します。

表示モード

DISP> ＊＊＊

ディスプレー表示を切り換えます。

- 出荷時は、GAIN に設定されています。
- 入力が OPT のときはどちらを選択しても同じ表示になります。

GAIN
イコライザーカーブ名とゲインを表示します。

INPUT
イコライザーカーブ名と入力名を表示します。

自動ディスプレー消灯

DPaOFF> ＊＊＊

自動的にディスプレーを消灯する設定を行います。

- 出荷時は ON に設定されています。

ON
10 分間操作のない状態が続くと、ディスプレーを自動的に消灯します。

DIM
10 分間操作のない状態が続くと、ディスプレーを DIMMER1 と同じ明るさにします。

OFF
自動ディスプレー消灯を行いません。

- ディスプレー表示器は、同じ表示状態で長時間使用し続けると、輝度ムラが起こることがありますので、自動ディスプレー消灯を ON にすることをお勧めします。

オートパワーセーブ

APS> ＊＊＊

選択した入力ソースに音声入力の無い状態 (無音状態) が設定時間続くと、電源を自動的にスタンバイ状態にします。

- 出荷時は、OFF に設定されています。
- 選択されていない入力ソースへの音声入力の有無は、オートパワーセーブの動作に影響しません。

30m
30 分

60m
60 分

90m
90 分

120m
120 分

OFF
オートパワーセーブを使用しません。

リモコン入力端子 (RS-232C)

RS232C> ＊＊＊

リモコン入力端子 (RS-232C) を使用時のみ ON に設定してください。

- 出荷時は OFF に設定されています。

OFF
リモコン入力端子 (RS-232C) を使用しません。

ON
リモコン入力端子 (RS-232C) を使用します。

設定の初期化

SETUP> ＊＊＊

設定した内容を工場出荷時の状態に戻し、すべてのメモリーを消去します。
設定の初期化をするには以下の操作を行ってください。

1. **選択項目変更ボタン (+ または–) を押して「CLR」を表示させる。**
2. **「CLR」表示中にメニューボタン (MENU) を長押しする。**

ファームウェアのバージョン表示

F/W ver.

ファームウェアのバージョン名を表示します。
+ ボタンを押すと、コントロール部 (CTL) と本体 (MAIN) のファームウェアのバージョンを順次表示します。

CTL v ＊＊ . ＊＊
MAIN v ＊＊ . ＊＊

「＊＊ . ＊＊」の部分がバージョンです。

エラー表示

エラー表示	説明
CHK POWER!	DC ケーブル 3 本のいずれかまたはどの DC ケーブルも正しく接続されていません。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。また、本機以外の原因も考えられます。接続した機器の使用方法も合わせてご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (32 ページに記載) にご連絡ください。

電源が入らない

- ➡ AC 電源コードをコンセントに差し込んでください。
- ➡ オートパワーセーブ機能でスタンバイ状態になっている場合は、電源をオンにし直してください。

音が出ない

- ➡ 電源をオンにしてください。
- ➡ 出力設定 (OUT>) がプリアンプと接続した端子になっているか確認してください。
- ➡ 入力設定がカートリッジと接続した端子になっているか確認してください。
- ➡ 光電式カートリッジ接続時は、OPT 入力電源 (O.PWR>) が ON に設定されているか確認してください。
- ➡ 簡易消磁がオンになると、再生音は出力されません。ディスプレーに「DEMAG XLR」または「DEMAG RCA」が点滅表示していたら、リモコンの簡易消磁ボタン (DEMAG) を押して、簡易消磁をオフにしてください。(17 ページ)

音がおかしい、音が割れる

- ➡ アンプと接続している端子を確認してください。
  本機は、アンプの音声入力端子 (LINE IN など) と接続してください。
- ➡ 入力端子が RCA(MM) に設定されている場合は、インピーダンス設定 (MCimp>) を確認してください。
- ➡ カートリッジの方式に合った入力設定に変更してください。(16 ページ)
- ➡ 電圧ゲイン (Gain>) もしくは電流ゲイン (C.Gain>) を下げてください。
- ➡ 出力設定 (OUT>) を確認してください。ESLA は接続先のアンプに ES-LINK Analog 入力端子 (ESL-A) がある場合のみ使用できます。

ブーンというノイズが多い

- ➡ レコードプレーヤーと本機のアース端子を接続しているケーブルを確認してください。
- ➡ レコードプレーヤーとのアース接続の有り無しで、ノイズの聞こえ方が変わる場合があります。
- ➡ 接続ケーブルの近くに各種電源コードや蛍光灯等がある場合は、本機からできるだけ遠ざけてください。

サーというノイズが多い

- ➡ レコードプレーヤーと接続しているオーディオケーブルを確認してください。
- ➡ MC カートリッジをお使いの場合は、負荷インピーダンス設定により、ノイズの聞こえ方が変わる場合があります。

仕　様

入力

端子
- XLR . . . . . 3 系統 (L/R)(MC 電流入力専用)
- RCA. . . . . 1 系統 (L/R)(MC/MM 電圧入力)
- OPTICAL . . . . . 1 系統 (L/R)(光電式カートリッジ専用)

RCA 負荷抵抗
- MC. . . . . 10、50、100、200、560 Ω
- MM . . . . . 47 k Ω

RCA 負荷容量
- MM . . . . . 100、220、320 pF

出力

端子
- XLR/ESL-Analog . . . . . .1 系統 (L/R)(切換式)
- RCA. . . . . 1 系統 (L/R)

出力インピーダンス
- XLR . . . . . 50 Ω
- RCA. . . . . 18 Ω

オーディオ特性

RIAA 偏差 . . . . . ± 0.3 dB

定格出力
- XLR . . . . . 2 V
- RCA. . . . . 1 V

最大出力 (歪率 1 %)
- XLR . . . . . 6.6 V (XLR、RCA 入力)
12 V (OPTICAL 入力)
- RCA. . . . . 3.3 V (XLR、RCA 入力)
6 V (OPTICAL 入力)

入力感度 (1 kHz)
- MC (電流入力) . . . . . 1.2 mV
(C.Gain：0 dB、Gain：0 dB、
インピーダンス 40 Ωカートリッジ想定時)
- MC (電圧入力) . . . . . 0.5 mV (Gain：0 dB)
- MM (電圧入力) . . . . . 10 mV (Gain：0 dB)
- OPTICAL . . . . . 50 mV (Gain：HI)

ゲイン
- MC (電流入力) . . . . 65 dB (XLR 出力) / 59 dB (RCA 出力)
(C.Gain：0 dB、Gain：0 dB、
インピーダンス 40 Ωカートリッジ想定時)
- MC (電圧入力) . . . . 72 dB (XLR 出力) / 66 dB (RCA 出力)
(Gain：0 dB)
- MM (電圧入力) . . . . 46 dB (XLR 出力) / 40 dB (RCA 出力)
(Gain：0 dB)
- OPTICAL . . . . . 32 dB (XLR 出力) / 26 dB (RCA 出力)
(Gain：HI)

電流ゲイン可変範囲 . . . . . − 9 〜 0 dB (3 dB ステップ)

電圧ゲイン可変範囲 . . . . . − 6 〜 +4 dB (2 dB ステップ)

イコライザー周波数
- LOW LIMIT (Hz) . . . . . 50、71、100
- TURNOVER (Hz). . . . . 800、630、500 (RIAA)、400、
350、300、250、FLAT
- ROLL OFF (dB/10kHz) . . . . . − 16、− 13.7 (RIAA)、− 12.7、
− 12、− 10.5、− 8、− 6、FLAT

全高調波歪率 (1 kHz / 22 kLPF / 定格出力時)
- MM . . . . . 0.008 %
- OPTICAL . . . . . 0.02 %

サブソニックフィルター . . . . . 16 Hz、− 6 dB/octave

一般

電源 . . . . . 100 V AC 50/60 Hz

消費電力 . . . . . 43 W
- スタンバイ時
- リモコン入力端子 (RS-232C) 設定 OFF 時 . . . . . 0.3 W
- リモコン入力端子 (RS-232C) 設定 ON 時. . . . . 0.7 W

外形寸法 (W × H × D、突起部含む)
- 本体 . . . . . .445 mm × 131 mm × 445 mm
- 電源 / コントロール部. . .445 mm × 131 mm × 451 mm

質量
- 本体 . . . . . 20.7 kg
- 電源 / コントロール部. . . . . 23.4 kg

許容動作温度. . . . . ＋ 5°C〜＋ 35°C

付属品

AC 電源コード× 1
DC 電源コード (オス) × 2
DC 電源コード (メス) × 1
リモコン (RC-1343) × 1
リモコン用乾電池 (単 3) × 2
取扱説明書 (本書) × 1
ご愛用者カード× 1

- 仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

保証とアフターサービス

■保証書

保証書はご愛用者カードと引き換えに発行いたします。

添付のご愛用者カードに必要事項を御記入の上、ご購入後なるべく 1 ヶ月以内にご返送ください。保証書が届きましたら、保証内容をご確認の上、大切に保管してください。
保証期間はお買い上げ日から 5 年です。

- 保証書発行には約 1 ヶ月程度かかります。あらかじめご了承ください。
- ご記入頂いたご愛用者カードのご購入日が弊社出荷日と大きく異なる場合（6 ヶ月以上ご愛用者カードの返送がない場合、ご愛用者カードでのユーザー登録をせず転売された場合等）は、保証書を発行できない場合があります。

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、弊社サービス部門が無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、保証書をご提示の上、弊社サービス部門またはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前に弊社サービス部門にお問い合わせください。なお、離島および離島に準じる遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居、ご贈答品等でお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社サービス部門にご連絡ください。
4. 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
   (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
   (2) お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
   (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
   (4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷
   (5) 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
   (6) 消耗品の自然消耗、磨耗、劣化や寿命部品等の交換が必要となった場合のメンテナンスやオーバーホール
   (7) 保証書の提示がない場合
   (8) 保証書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名 (印) の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品 (製品の機能を維持するために必要な部品) を製造打ち切り後 8 年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店、AV お客様相談室もしくはティアック修理センター (32 ページに記載) にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

26 ページの「 困ったときは 」に従って調べても、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (32 ページに記載) にご連絡ください。
なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害 (録音内容などの補償) の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理いたします。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理いたします。

修理料金の仕組み

技術料： 故障した製品を正常に修復するための料金です。測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。
部品代： 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料： 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：フォノアンプ　Grandioso E1
シリアルナンバー：
お買い上げ日：
販売店名：
お客様のご連絡先
故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

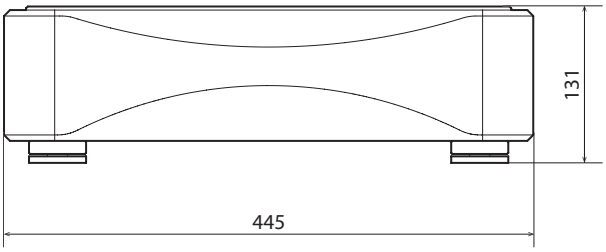
分解・改造禁止

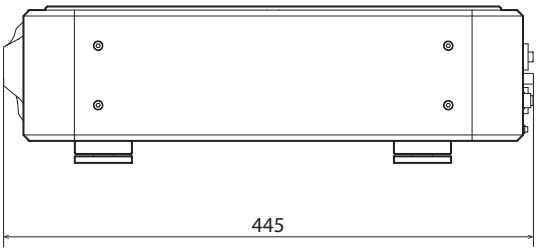
この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

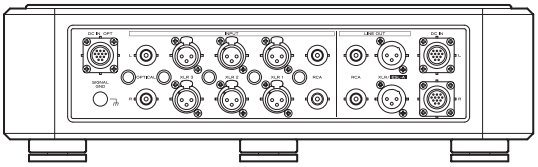
当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

寸法図

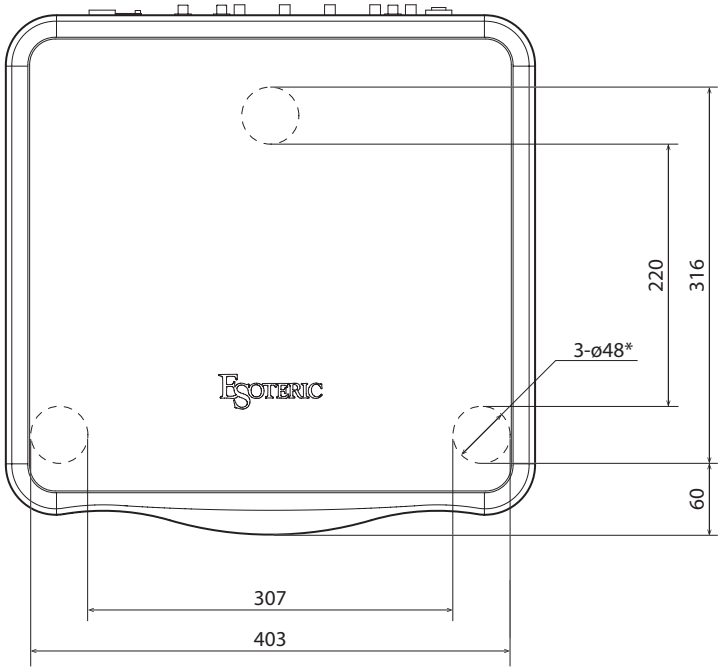
本体







フット配置図

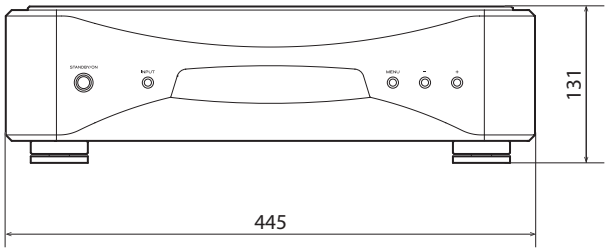


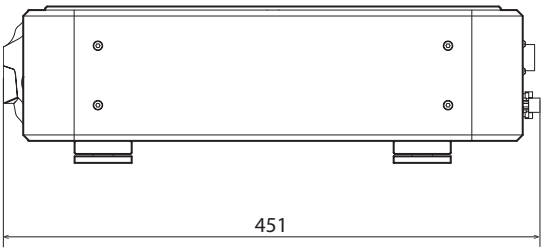
単位：mm

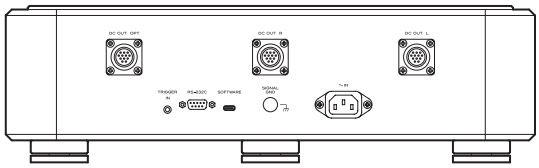
* 直径 48mm フット× 3

寸法図（続き）

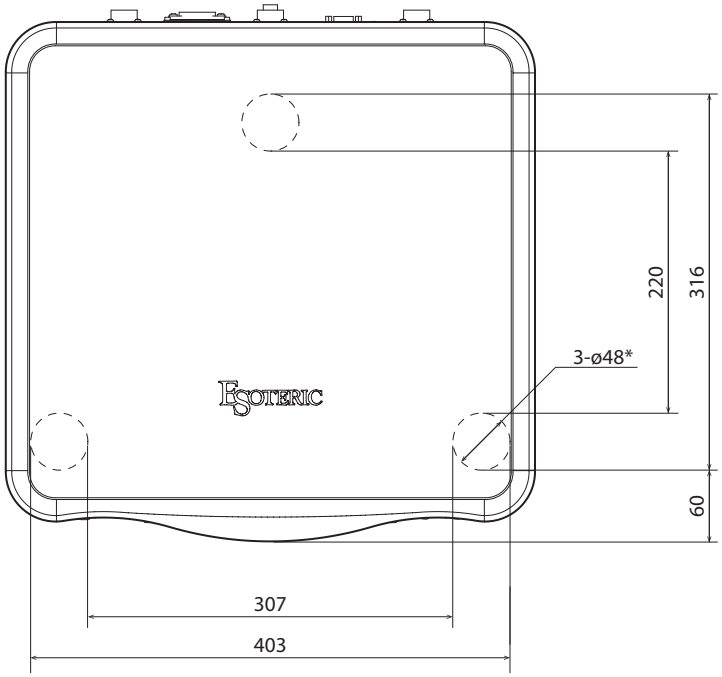
電源 / コントロール部







フット配置図



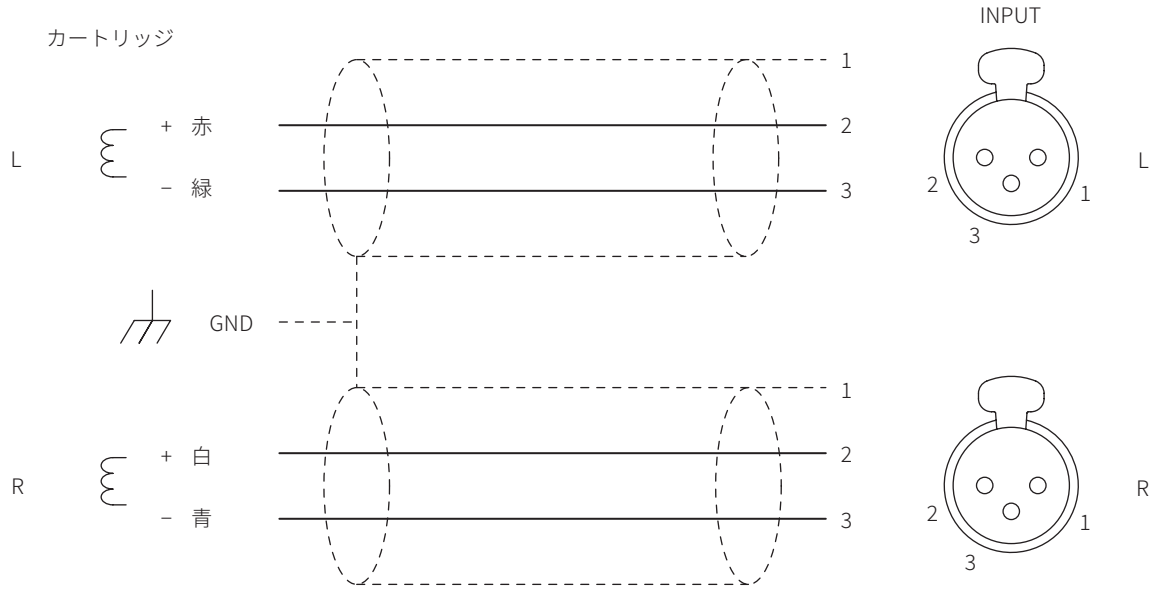
単位：mm

* 直径 48mm フット× 3

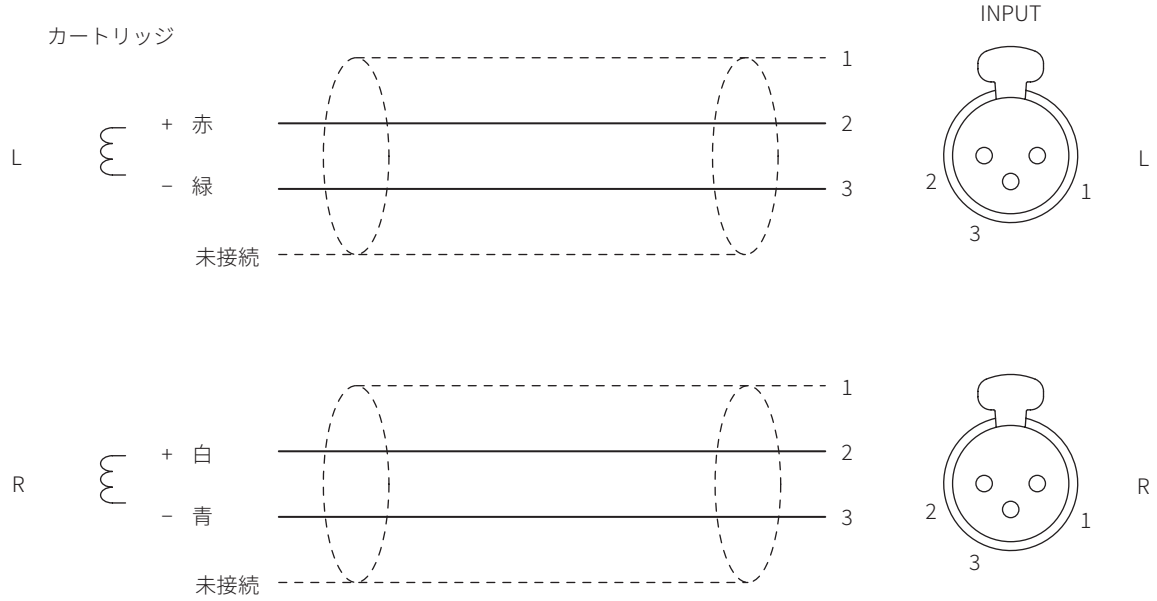
XLR ケーブル接続図

XLR ケーブルを本機で使用する場合は、下記のいずれかの接続でご使用ください。

例 1



例 2



ティアック株式会社
〒 206-8530　東京都多摩市落合 1-47
https://www.esoteric.jp/jp/
ESOTERIC ウェブサイト ▶

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせ

AVお客様相談室　〒206-8530　東京都多摩市落合1-47

042-356-9235　携帯電話、IP 電話をご利用の場合

0570-000-701　ナビダイヤル　固定電話をご利用の場合

FAX：042-356-9242

受付時間は、10:00 ～ 12:00/13:00 ～ 17:00 です。
（土・日・祝日・弊社指定休日を除く）

故障・修理や保守についてのお問い合わせ

ティアック修理センター　〒358-0026　埼玉県入間市小谷田858

04-2901-1033　携帯電話、IP 電話をご利用の場合

0570-000-501　ナビダイヤル　固定電話をご利用の場合

FAX：04-2901-1036

受付時間は、9:30 ～ 12:00/13:00 ～ 17:00 です。
（土・日・祝日・弊社指定休日を除く）

● 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。



ティアック株式会社

PRINTED IN JAPAN 1224·MA-3940B